

Olive News

オリーブ 便り

基本理念 患者さんの権利を尊重し、良質・安全な医療を提供するとともに、医学の教育・研究を推進し、医療の発展に寄与します。

脳卒中・心臓病等 総合支援センター設置のお知らせ

香川大学医学部附属病院
脳卒中・心臓病等総合支援センター

2018年12月14日に「健康寿命の延伸等を図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法」が成立し、年々発症が増加している脳卒中や心不全の予防・治療の国民啓発や、治療体制の整備が進められています。

この度、香川大学は厚生労働省の「令和4年度脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業」に申請し採択されました。この事業では、

- 相談支援（医療チームによる患者さんのニーズに寄り添った支援）
- 地域／多職種連携による支援
《地域連携クリティカルパスや、かがわ医療情報ネットワーク(K-MIX R)を活用した情報共有による地域支援》
- 小児から継続・一貫した診療支援（香川県小児生活習慣病予防健診の結果を活用した支援）
- 産学官連携による啓発・広報活動
（地域と協働して行う疾患予防や早期発見、治療法の紹介などの研修会、産学官連携による啓発）

などを計画しています。

当院では、2022年10月1日に脳卒中・心臓病等総合支援センターを新設し、初めは入院、または、かかりつけの患者さんを対象に、ワンストップで相談・支援につなげる取り組みを行って参ります。

現在、家庭・社会復帰・復職に関する社会の受け入れや支援システムは徐々に整備されつつありますが、病気を発症した直後は先が見通せず、「生活や仕事は続けられないかも・・・」「これから費用をどうしよう・・・」「子供もいるし・・・」と不安ばかりが先走り、ご本人はもとよりご家族の方も心配が募ることでしょう。そんな時、まず相談をしてみてください。脳卒中・心臓病等総合支援センターでは、患者さんの今後の生活・働き方をどうするか、悩みに応じた解決策を一緒に考えるお手伝いが可能です。医療・福祉・介護など多職種の専門家が相談支援に参加していますので、きっとお役に立てるはずですよ。



脳卒中・心臓病等総合支援センタースタッフ一同

INFORMATION

相談窓口

香川大学医学部附属病院
脳卒中・心臓病等総合支援センター
(外来診療棟1階 総合地域医療連携センター内)

電話

087-891-5684



子供から高齢者まで科学に裏付けられた 満足度の高い医療の提供を目指します

診療科長 石川 正和

2022年9月1日付けで整形外科の診療科長を拝命致しました石川正和と申します。私は、1998年に徳島大学を卒業後、膝関節外科医を目指し、島根医科大学、広島大学で研鑽しました。これまでに関節軟骨損傷に対する再生医療を中心に、基礎研究、臨床研究を行って参りました。今後も、様々な選択肢を提示させて頂きながら、皆様に満足度の高い医療を提供することを目指して尽力したいと考えています。

私は、膝関節温存を目指して様々な挑戦を行ってきました。小児の軟骨が剥離する病気や膝蓋骨が脱臼する病気に対しては、その原因を一つ一つ明らかにし、患者さん個々の状態に応じて適切な手術ができるように手術手技を確立してきました。また、成人の靭帯損傷、変形性膝関節症に対しては解剖学的な機能再建とともに、関節温存を目指して骨切り術を選択するとともに、最新の再生医療を組み合わせ、軟骨再生、半月板再生のための新たな治療方法を開発しています。それでも疼痛を改善できない場合は、コンピューターやロボットを駆使して正確で満足度の高い人工膝関節置換術を行ってきました。このように、小児から成人、高齢者まで対応していくために、謙虚な姿勢で患者さんの訴えをしっかりと聞き、問題点を解決してきました。今後は香川県の皆様に、膝関節疾患におけるトータルソリューションを提供するとともに、科学に裏付けられた満足度の高い医療を提供できる医師の育成に励みます。



クリティカルケア認定看護師としての活動について

香川大学医学部附属病院 クリティカルケア認定看護師 堀 仁実・安西 馨・秋山 恭子

私たちは認定看護師としての活動に加えて、特定行為看護師としても活動しています。特定行為看護師とはまだあまり聞き慣れないと思いますが、研修を修了後に、難易度の高い診療補助行為(特定行為)を、医師の判断を待たずに指示書に基づき看護師自身の判断で行うことができる看護師の事です。

私たちクリティカルケア認定看護師は、重症な患者さん、およびそのご家族に対する看護を専門とし、手術後や救急車で搬送された呼吸・循環などに障害がある患者さんの支援や早期リハビリテーションを実施することで、患者さんの早期回復、早期社会復帰を目指します。また私たちは心のケアも大切にしています。患者さんは辛い治療や先が見えない不安を抱え、治療に前向きになれない時もあります。そんな時に自分の想いを少しでも表出でき、そして患者さん自身が治療に前向きに取り組むことができるように関わる看護を心がけています。現在、安西は集中治療室で、堀は消化器外科・乳腺内分泌外科病棟で、秋山は救命救急センターICUで勤務しています。お互いの部署で患者さんの情報共有を図りながら、継続した看護ができるよう連携しています。辛い治療を乗り越えて、笑顔で社会復帰していく患者さんの姿が私たちのパワーの源です。これからも、患者さんに寄り添った看護をしていきたいと考えています。



2022年度の医師臨床研修マッチング結果について

香川大学医学部附属病院 卒後臨床研修センター センター長 安田 真之

2023年度から医師になる医学科生らが臨床研修病院を選ぶ「2022年度マッチング結果」が、10月27日に公表されました。

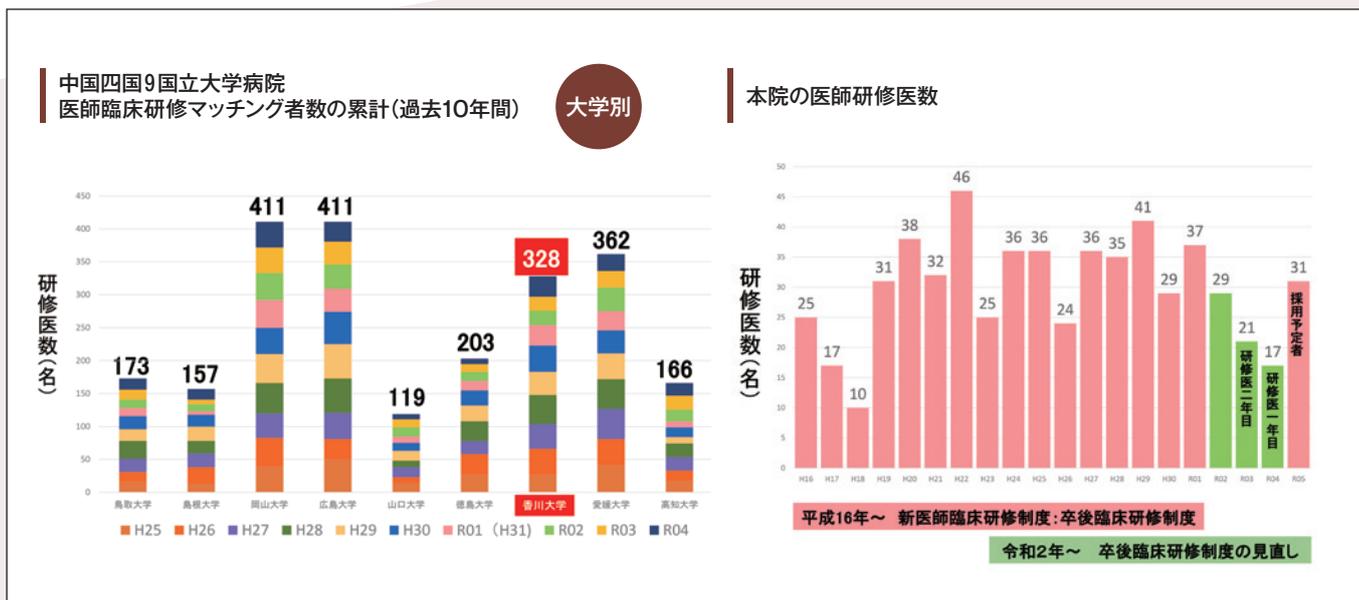
本院のマッチ者数は、MANDEGANプログラム(29名)および小児科プログラム(2名)、あわせて計31名でした。

本院への想い・期待を抱いてくれた皆さんが、来春から本院で研修開始予定であることを大変嬉しく思います。

2020年度から、卒後臨床研修制度が大幅に変更となりました。必修診療科での研修期間が増え、新たに外来診療・チーム医療の実践など必修項目も設定されています。また、医師だけでなく看護師等の多職種による研修医評価も必要となりました。院内スタッフの皆様には、研修医指導へのご理解とご協力をお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症対策のため、病院見学や面接試験などにおいて多くの制約を受けました。本年度のマッチング結果は、中国四国国立9大学病院の中でもマッチ数は2番目、香川県内としましては昨年度より増え71名となりました。ここ数年は地方国立大学病院では、研修医確保が大変厳しい状況に陥っており、地域医療を担う医師教育、育成に多大な影響を及ぼすことが危惧されております。今後、多くの医学生からキャリアアップのファーストステップとして本院が選択される為に、医療の社会的ニーズの変化に対応した研修を提供することが、さらに重要となると考えています。

医学部教育センター、臨床教育研修支援部が一気通貫体制で医師養成に望むだけでなく、病院全体のムーブメントとして院内スタッフの皆様に関わって頂き、研修医が医師としてのキャリアアップに夢を持てる大学病院であり続けることが大切と考えます。引き続き研修医育成にお力添えの程よろしくご厚意申し上げます。



イベントカレンダー 2022年12月～2023年2月 予定表

月日	時間	場所	名称及び内容	担当	連絡先
12/3 (土)	14:00～16:00	かがわ国際会議場	市民公開講座 ほっとくと怖い脂肪肝 ～アルコール性脂肪肝・非アルコール性脂肪肝～	医療支援課医療連携支援係 肝炎治療相談窓口	(087)891-2468
12/4 (日)	9:00～13:00 (予定)	香川県社会福祉総合センター コミュニティホール	第48回 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 四国四県連合学会	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	(087)891-2214
12/10 (土)	13:00～15:00	Zoom研修	県内看護師・保健師対象 公開講座 脳卒中の再発予防について	看護部	(087)891-2320
12/17 (土)	13:00～17:00	香川県社会福祉総合センター 第一中会議室	第30回 日本熱傷学会中国四国地方会学術集会	形成外科学	(087)891-2198
2/10 (金)	14:00～15:00	香川大学医学部附属病院 西1階カンファレンスルーム	第3回 肝臓病教室	医療支援課医療連携支援係 肝炎治療相談窓口	(087)891-2468

手術支援ロボット「ダヴィンチ」が増台されます！～最新機種2台体制へ～

香川大学医学部附属病院 ロボット手術センター センター長 杉元 幹史

当院では2013年から使用していた手術支援ロボット「ダヴィンチSi」の更新に伴い、最新機種である「ダヴィンチXi」と「ダヴィンチX」を新たに導入することとなりました。

これまで当院では、泌尿器・副腎・腎移植外科をはじめ、消化器外科、呼吸器外科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科にてロボット支援手術を行っていましたが、本年度に18の術式に保険適応が拡大され、周産期科女性診療科が新たにロボット支援手術を開始いたしました。泌尿器科領域では、今まで腹腔鏡手術で行われていた腎臓や副腎の手術もロボット支援手術の適応になりました。

この度、2台体制での運用が始まることで、増加するロボット支援手術に対応することが可能となり、これまでより手術待機期間が短縮され、より多くの患者さんに対しロボット支援手術を提供できることとなります。

ロボット支援手術は、患者さんの体に優しい手術が提供できるだけでなく、手術を行う術者にとっても優しく負担が軽減することによって、より安全な手術が可能となり、今後さらに適応が拡大されていくと思われま

当院では、高度の医療を行う大学病院として、ロボット手術センターを中心に、より最先端のロボット支援手術が提供できるように今後も努めてまいります。



da Vinci

ケーブルTVで放送中

イキイキさめき健康塾
香川大学医学部附属病院 医療セミナー

詳しくはこちら



12月のテーマ「血管でつながっている脳と心臓、最新の治療とこれからの医療連携」

R5.1月のテーマ「遺伝性乳癌や大腸癌について」 予定

2月のテーマ「ここまでできる身体に優しい肺がん外科治療」 予定

編集委員会 (50音順)

岡内(外来)、金西(副病院長)、亀田(病棟)、木内(検査)、小坂(薬剤)、圖子(管理)、筒井(経営企画)、仁尾(医療支援)、松賀(看護)、門田(放射線)、横井(医療情報)、和氣(医事)、渡邊(総務)〔委員長 門脇病院長〕

(2022年9月現在)